

◎新たな行財政改革と総合計画・総合戦略の関係

どのような政策を 実施していくか	長崎県総合計画(H28～H32)	
	将来像	基本戦略
	<ul style="list-style-type: none"> ・交流でにぎわう長崎県 ・地域のみんが支えあう長崎県 ・次代を担う『人材』豊かな長崎県 ・力強い産業を想像する長崎県 ・安心快適な暮らし拡がる長崎県 	<ul style="list-style-type: none"> ①交流を生み出し活力を取り込む ②交流を支える地域を創出する ③互いに支えあい見守る社会をつくる ④生きがいを持って活躍できる社会をつくる ⑤次代を担う子どもを育む ⑥産業を支える人材を育て、活かす ⑦たくましい経済と良質な雇用を創出する ⑧元気で豊かな農林水産業を育てる ⑨快適で安全・安心な暮らしをつくる ⑩にぎわいと交流を支える社会基盤を整備する
	長崎県まち・ひと・しごと創生総合戦略(H27～H31)	
基本姿勢	基本目標	
<ul style="list-style-type: none"> 1. 多彩で魅力ある県土や特色ある地域資源、既存ストックなど、「本県が持つ強みや資源のフル活用」 2. 「人材立県」を推進し、「人材と産業のイノベーション」、「ひと」と「しごと」の好循環を生み出す 3. 「支えあい」と「連携」の推進による「共創のまちづくり」 	基本目標① しごとを創り、育てる ○「産業の稼ぐ力」を強化し、人口の受け皿となる良質な雇用の場を創出・確保する ○長崎県の強みをフルに活かして新しい産業を創出する 基本目標② ひとを創り、活かす ○産業を支える人材を育成し、「人材育成」と「雇用創出」の好循環を創出する ○長崎県移住戦略を推進する 基本目標③ まちを創り、支えあう ○若者など、県民が望む「結婚・出産・子育て」及び「就労環境」を実現する ○人口減少社会における持続可能な地域づくりを推進する	

政策の実施を下支え

行財政改革懇話会で議論		
どのような行財政運営により 政策の実現を図るか	新たな行財政改革に関する計画	<ul style="list-style-type: none"> ○事業・業務プロセスの見直し ○より効果的・効率的に事業・業務を実施する人材育成 ○県政の将来に向けて持続可能かつ安定的な行財政運営